

2018年(平成30年)

3/10

No. 1147

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8
(東京都トラック総合会館)

☎(03) 3359-6251 (代表)
☎(03) 3359-4134 (広報部)

《ホームページアドレス》<https://www.totokyo.or.jp/>

東ト協 常任理事会

支部の充実支援に6千万円

東京都トラック協会(千原武美会長)は2月27日、東ト総合会館で平成29年度第4回常任理事会を開催し、30年度会長選定スケジュールや東京方式による支部公認化第2ステージの取り組み、未来型グリーン・エコプロジェクト(GEP)構築、トラックフェスタ開催などについて審議・承認した。千原会長はあいさつで、来年度の最重要事業として「支部の充実支援に協会を挙げて全力で取り組む」と表明。あわせて、来年度は「協会トリアル2018」を旗印に、様々な課題解決にトリアルしていく」と述べた。



千原会長

冒頭、あいさつに立つ千原会長は「就任以来『10の施策』を掲げ、全方で協会の立て直しを進めてきたが、その90%は目鼻がつくところまでできた」と成果を総括。その上で、特に防災・教育センター構想に言及。東ト協の政策提案、冒頭、あいさつに立つ千原会長は「就任以来『10の施策』を掲げ、全方で協会の立て直しを進めてきたが、その90%は目鼻がつくところまでできた」と成果を総括。その上で、特に防災・教育センター構想に言及。東ト協の政策提案、

訃報

東ト協・全ト協元会長 中西英一郎氏が逝去



の遺志により、近親者のみで行い、後日、お別れの会を執り行う予定(詳細は未定)。

東京都トラック協会・全日本トラック協会元会長の中西英一郎氏(なかにし・えいいちろう)氏が、2月27日午前11時、東京都港区で逝去した。享年89歳。卒前を前に永眠した。通夜・告別式は、故人会をを務めた。

災害時対応で補助金

- 〈物流コーディネート機能の充実〉
※30年度から2年間
- 支部補助金の創設
各年度/予算2,500万円
(1支部当たり100万円)
 - ・支部の物流コーディネーターによる区市町村や支部会員事業者との連絡調整に関する体制整備などの経費を補助
 - 本部に担当課長設置
予算1,500万円
 - ・都との連絡調整や支部が実施する物流コーディネート活動を支援/支部事務局を支援

トラックフェスタ開催へ 実行プロジェクト設置

東ト協は2月28日、東ト総合会館で第1回「トラックフェスタ」開催に向けて、今後ワーキング・グループ(WG)を中心として具体的な開催準備を進める方針だ。

9月22・23日 代々木公園で

実行プロジェクトは、

参加者負担(有料化)とする方針。これまで環境対策基金を取り崩し、事業費に充当してきたが、来年度には同基金が枯渇する見通しのためだ。

◆主な行事日程◆	
3月15日	総務委員会
3月19日	常任理事会
3月29日	理事会
4月25日	会長候補者推薦届の受付
5月30日	理事会(会長候補者決定)
6月22日	30年度通常総会(理事選任) 理事会(会長選定)

未来型GEP構築へ 「環境対策基金」積み増す

これら事業施策に関し、3月7日開催の第29年度通常総会で次期理事を選任し、総会後の新任



江森東副会長をリーダーとするWGメンバーが、30年度フェスタ開催について話し合う様子

は、開催概要やWG設置、

東ト協 HPリニューアル

このほど、ホームページをリニューアルいたしました。より見やすく、より使いやすいホームページとして、皆様にご利用いただけますよう、運営を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

☎スマートフォンでのアクセスはこちら

※2次元コードの読み取りができない機種もございます。

警察庁、駐車規制見直しを通達	2
自動車運送・働き方改革会議	3
29年度第2回運管試験問題	4・5
都「貨物輸送評価制度」セミナー	6
東ト協、環境委員会を開催	7

駐車規制見直しを通過

要望場所中心に検討へ

集配貨物車限定で緩和手法示す

警察庁



車規制の見直しの推進について」を発売し、貨物自動車運送事業者団体などが要望する場所を中心に、早期に規制見直しに向けて取り組むよう求めた。

警察庁は2月20日、各都道府県警察本部などに對し、交通局長通達「貨物集配中の車両に係る駐

に取りまとめた「直ちに取組む施策」に盛り込まれていたもの。これを受け、各地域における駐車需要の実態を的確に把握した上で、道路環境や交通実態の変化などに加えて、貨物自動車運送者の労働条件の改善が過労運転の防止などにつながり、交通安全の確保に資することも踏まえ、「駐車規制が交通安全と円滑を確保する上で必要最小限のものとなるよう、積極的かつきめ細やかな検討及び取組を行うこと」を通過した。

(1) 貨物の集配に相応な時間を要する集合住宅、中高層オフィスビルなどの建物(敷地内または建物内に貨物集配中の車両のための駐車場所が存在するものを除く)の付近や、中低層の小規模ビルなどが密集する市街地などの貨物集配中の車両に係る高い路上駐車需要が認められる場所

また規制見直しに際しての留意事項として、地域住民への十分な説明と理解を得るよう最大限に努めるとともに、地方公共団体などに対し、駐車施設の整備などを働きかけるよう求めた。

さらに、規制見直しは可能な限り早期に行うこととし、平成32年度末までに見直しを完了するよう、計画的かつ集中的に実施することを通達した。

このため「健康起因事故対策協議会」を設置し、

脳血管疾患対策で指針
事故防止へ健診を促進

国土交通省は2月23日、全日本トラック協会などに対し、自動車局長名で「自動車運送事業者における脳血管疾患対策ガイドライン」(指針)を策定。この指針を活用し、自主的なスクリーニング検査の導入促進を図り、事故防止に取り組むよう通達した。

指針では、脳血管疾患の原因と予防法、早期発見・対処に役立つ脳健診の活用を図る上で、事業者が知っておくべき内容や取り組む際の準備段階から受診後の対応まで一連の流れを具体的に提示。健診結果を踏まえ、専門医による精密検査および治療、発症者への対応(勤務形態の変更など)について示している。

ガイドライン素案作成

30年度にコンサル実施

国土交通省と厚生労働省は2月22日、第8回「トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会」・第7回「トラック運送業の生産性向上協議会」合同会議を開催し、平成28年度のパイロット事業に基づく「プレガイドライン」(素案)を示した。30年度はこれまでの取り組みを対象にコンサルティングを行い、「ガイドライン」を策定する方針だ。

ガイドライン素案は、パイロット事業による取

トラック輸送取引・労働時間改善協議会



組みのポイントや成果などを迅速に普及・展開を図るため、作成したものに整理し提示した。

①予約受付システムの導入による荷待ち時間の削減、②パレットの活用などによる荷役時間の削減、③発荷主からの入出荷情報などの事前提供による拘束時間の削減、④幹線輸送部分と集荷配送部分の分離、集荷先や

送の確保、⑧高速道路の利用による拘束時間の削減、⑨その他混雑時を避けた配送による荷待ち時間の削減や、発注量の平準化による拘束時間の削減など

来年度は、28・29年度に実施したパイロット事業に続き、その取り組みをさらに改善・深掘りするためのコンサルティング事業を行う。原則として各ブロックごとに2地域を選定して行う予定。こうしたコンサルによる取り組み成果などを踏まえ、最終版のガイドラインを策定する方針だ。

同日の合同会議ではこのほか、29年度パイロット事業の中間報告を行う

運賃・料金の届出

全国平均で37%
早めに手続きを

合同会議では、標準貨物自動車運送約款の改正に伴う運賃・料金の変更届出状況(2月16日時点)について報告。

29年度 第2回 運管試験正答

3月4日実施

貨物

問1	問2	問3	問4	問5	問6
1,3	3	2,3	A:5,B:1 C:6	2,3	2
問7	問8	問9	問10	問11	問12
3	1,3	3	2,3	A:1,B:2 C:1	3
問13	問14	問15	問16	問17	問18
1	2,3	A:2,B:1 C:1,D:2	2,4	3	1
問19	問20	問21	問22	問23	問24
3	A:1,B:8 C:5,D:3	1,3	1,3	3	適4 不適1,2,3
問25	問26	問27	問28	問29	問30
適3,4 不適1,2	適1,2,4 不適3	A:4,B:1 C:6,D:2	適2,3 不適1,4	2	A:1,B:1 C:1

平成29年度第2回運行管理者(貨物)試験が3月4日、全国一斉に行われ、東京会場では2か所合計で2,453人が受験した(試験問題は4・5面掲載、正答は左表)。合格発表は4月3日午前9時から、運行管理者試験センターのホームページで。

エネルギー・フロンティア
TOKYO GASNGVを選ぶことが
地球の未来を変える。

- 天然ガスを燃料とするNGV(天然ガス自動車)は、燃料多様化によりエネルギーセキュリティに貢献
- 天然ガスの可採年数は250年程度(出典:IEA World Energy Outlook 2011)
- 天然ガスは燃やしてもSOxや黒煙を発生しないクリーンなエネルギー

東京ガス株式会社 NGV事業部 〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20 TEL.03-5400-6772 <http://eee.tokyo-gas.co.jp/ngv>おかげさまで
40000台突破

日本の天然ガス自動車普及台数は、4万台を突破いたしました。(平成29年3月末)

運輸 点描

東京五輪

交通混雑緩和へTDM

2020年の東京オリンピックは7月24日～8月9日、パラリンピックは8月25日～9月6日まで開催され、計55の競技が予定されている。

大会期間中、競技に参加する選手・役員などの大会関係者のほか、多くの観客や観光客が国内外から訪れる。競技観戦者だけで1日に最大で100万人の移動が見込まれる。とりわけ競技会場の多い臨海部では、対策を講じないと周辺道路の大混雑が予想される。

このため東京都は、経済活動・都市活動への影響を最小限に抑えながら、大会関係者や観客などを安全・円滑に迅速に輸送するための方策を検討。国や自治体、警察などで構成する「輸送連絡調整会議」での議論に基づき、昨年6月に「輸送運営計画V1(バージョン1)」を策定した。

配達・集荷時間変更など提案

荷主への協力呼びかけに重点

を盛り込んだ「輸送運営計画V2」を、2018(平成30)年度末までに作成する予定だ。

競技関係者の競技会場への移動には乗用車かバスを使い、主に高速道路を利用する。過去の大会では高速道路に専用レーンを設けて輸送したケースもあるが、東京大会では首都高速に全面的に専用レーンを設けた場合には、かえって交通混乱を招く、というシミュレーション結果がある。

このため都では、事前に輸送ルートを確認した上で、全面規制ではなく、一部の区間で専用レーンまたは優先レーンを設ける方法などを検討していく方針。

首都高速の平日の車の両通行台数はおよそ100万台。これに対し、大会関係車両は1日に5万台と推定される。首都高速では5%の増減で車の流れが大きく変わるといわれており、5万台の増加分をいかに吸収するかが課題となる。

都は交通渋滞の緩和に向け、ロンドン大会に倣って「交通需要マネジメント(TDM)」を導入する。

ロンドン大会では「リデュース(交通量を減らす)」「リタイム(時間変更)」「リルート(ルート変更)」「リモード(輸送手段変更)」を掲げてTDMに取り組んでおり、成果を上げた。都はこれを参考に、

日本の物流事情を考慮して、独自のTDMを構築する。物流業界などに交通量抑制の工夫を提案し、協力を呼びかける方針。

東京商工会議所が会員企業を対象にアンケートを実施し、協力呼びかけへの対応の可否を尋ねたのに対し、物流企業では他の業種と比べ「対応不可」とする回答が最も多かった。その理由として多くの企業が「荷主の意向」を挙げたという。

都はこれを踏まえ、荷主サイドへの働きかけに、特に力を入れていく構えだ。(ジャーナリスト 巴未希)

政府

自動車運送・働き方改革会議 今春に行動計画策定 輸送品目別の対策も

政府は2月20日、首相官邸で第3回「自動車運送事業の働き方改革に関する関係省庁連絡会議」を開催し、今年4月以降、時間外労働の罰則付き上限規制導入までの間を対象とする、行動計画を策定する方針を決めた。

今春を目途に「自動車運送事業の働き方改革に関する行動計画」(仮称)を策定・公表する。行動計画の基本的な考え方としては、昨年8月に同会議が取りまとめ



具体的には、長時間労働の是正のためには取引条件の見直し・改善など、荷主・元請事業者の協力が不可欠なことから、トラック運送者の労働条件改善に協力する「ホワイト荷主」を増やすための方策を検討する。

また、荷待ち時間が長い輸送品目などを把握

し、輸送分野別に長時間労働を是正するための方策などを検討し、取り組みを強化する。

昨年7月に全日本トラック協会を通じて実施した、荷待ち時間のサンプル調査結果(速報値)によると、多い順に荷待ち時間30分～1時間が44%

、1時間～1時間30分が17%、1時間30分～2時間と2～3時間が各14%だった。

また、輸送品目別の荷待ち時間(30分以上)の発生件数は、多い順に加工食品、建築・建設用金

属製品、紙・パルプ、飲料・酒、生鮮食品などだった。

また、輸送品目別の荷待ち時間(30分以上)の発生件数は、多い順に加工食品、建築・建設用金

属製品、紙・パルプ、飲料・酒、生鮮食品などだった。

国土交通省

適正運賃・料金検討会

国土交通省自動車局は2月19日、第6回「トラック運送業の適正運賃・料金検討会」を開催し、

トラック運送事業を実施する際に必要な費用について、事業者と荷主企業で共通認識の形成を促すための手引策定に向けて

審議した。同日は、主要な費用構成とその費目などを整理して提示。

具体的には、①運行費、②燃料費、③税金・料金、④保険料、⑤運賃・料金の算定方法、⑥車両・車庫、⑦高速道路料、⑧整備・修理費、⑨事故処理費、⑩租税公課費、⑪雑費など、

具体的な費用構成や水準を整理し、事業者と荷主企業で共通認識の形成を促す手引策定に向けて

審議した。同日は、主要な費用構成とその費目などを整理して提示。

具体的には、①運行費、②燃料費、③税金・料金、④保険料、⑤運賃・料金の算定方法、⑥車両・車庫、⑦高速道路料、⑧整備・修理費、⑨事故処理費、⑩租税公課費、⑪雑費など、

具体的な費用構成や水準を整理し、事業者と荷主企業で共通認識の形成を促す手引策定に向けて

運送費用構成や水準

共通認識形成へ手引

国土交通省は昨年、同検討会

の報告を踏まえ、標準賃率、物自動車運送約款などを改正し、運賃と料金を別立て収受すべきことを明確化した。

同検討会では、これに続く適正取受方策について検討しているもので、適正取受に向けた環境整備として、運送に必要な費用構成や主要費用の標準的な水準のイメージなどを示す手引を作成し、これにより、事業者と荷主双方の共通認識の形成を促す方針。

ただ運送費用は、事業規模や運送形態(品目)などにより異なるため、どのような形で標準的な水準を示すかなどについて検討している。

大66人(定員になり次第、締め切る)

東運支局

整備管理者研修 (選任前)

30年度

各奇数月に計6回

東京運輸支局は、5月から各奇数月に、平成30年度整備管理者(選任前)研修を順次開催する。受講料は無料。

受講対象は、整備管理者として選任される予定の者(過去に同研修を受けたことがない者)。

研修時間は、午前9時～午後1時30分、午後1時30分～午後4時30分(定員)1回当たり最大66人(定員になり次第、締め切る)

《研修日程》

第1回 5月9・10日

第2回 7月10・11日

第3回 9月11・12日

第4回 11月6・7日

第5回 31年1月9・10日

第6回 3月5・6日

《研修時間》いずれも午前9時～午後1時30分、午後1時30分～午後4時30分

《定員》1回当たり最大66人(定員になり次第、締め切る)

《会場》いずれも東京運輸支局1階会議室(品川区東大井1-12の17)

《申し込み期間》各開催月の前月各偶数月の1～7日(例えば、5月の第1回研修の申し込み期間は4月1～7日)

※受講申込書(東運支局ホームページからダウンロード可能)に記入の上、FAX送信する

▽申し込み・問い合わせ先 東京運輸支局保安担当

(03・3458・9237、03・3458・9783)

WebKIT 運賃指数

求荷求車情報ネットワークWebKITの成約運賃指数によると、2月の指数は122で前月比3%、前年同月比8%上昇した。2月としては調査開始

122に上昇

以来、最も高い指数で、引き続き高い水準で推移している。

荷物情報(求車)登録件数は13万6248件で、前年同月比46.6%増加し、車両情報(求荷)を大幅に上回って推移。運送者不足などで輸送需給がタイトな状況にあり、成約率は14.3%で同4.2%低下した。

各回とも2日間の日程で、午前・午後の計4回開催。終了後に修了証明書交付する。開催日程は次の通り。

《会場》いずれも東京運輸支局1階会議室(品川区東大井1-12の17)

《申し込み期間》各開催月の前月各偶数月の1～7日(例えば、5月の第1回研修の申し込み期間は4月1～7日)

※受講申込書(東運支局ホームページからダウンロード可能)に記入の上、FAX送信する

▽申し込み・問い合わせ先 東京運輸支局保安担当

(03・3458・9237、03・3458・9783)

大66人(定員になり次第、締め切る)

《研修時間》いずれも午前9時～午後1時30分、午後1時30分～午後4時30分

《定員》1回当たり最大66人(定員になり次第、締め切る)

《会場》いずれも東京運輸支局1階会議室(品川区東大井1-12の17)

《申し込み期間》各開催月の前月各偶数月の1～7日(例えば、5月の第1回研修の申し込み期間は4月1～7日)

※受講申込書(東運支局ホームページからダウンロード可能)に記入の上、FAX送信する

▽申し込み・問い合わせ先 東京運輸支局保安担当

(03・3458・9237、03・3458・9783)

大66人(定員になり次第、締め切る)

《研修時間》いずれも午前9時～午後1時30分、午後1時30分～午後4時30分

《定員》1回当たり最大66人(定員になり次第、締め切る)

《会場》いずれも東京運輸支局1階会議室(品川区東大井1-12の17)

《申し込み期間》各開催月の前月各偶数月の1～7日(例えば、5月の第1回研修の申し込み期間は4月1～7日)

※受講申込書(東運支局ホームページからダウンロード可能)に記入の上、FAX送信する

▽申し込み・問い合わせ先 東京運輸支局保安担当

(03・3458・9237、03・3458・9783)

大66人(定員になり次第、締め切る)

《研修時間》いずれも午前9時～午後1時30分、午後1時30分～午後4時30分

エコドライブの効果紹介

5年連続評価118社を表彰

東京都

東京都環境局は2月23日、千代田区のTKPガーデンシティ竹橋で、平成29年度の「貨物輸送評価制度セミナー」を開催し、約150人が参加した。セミナーではエコドライブ推進に関する基調講演などに加え、25年度の制度開始から、5年連続で評価を取得した事業者の表彰が行われた。

貨物輸送評価制度セミナー



当初の2・5倍に増えている。さらに拡大を目指していきたい」と述べた。

また、都環境局の千田敏環境改善部自動車環境課長が、貨物輸送評価制度による5年間の成果として、CO₂排出量を約6・8万ト削減したことなどを説明。その上でさらに取り組みを促進するため、荷主団体に評価事業者の優先的な利用を働きかけるとともに、連続評価取得の事業者に対する表彰制度を創設したことを紹介した。

この後、5年連続評価取得の118社を発表し、優秀事業者86社と、特に高い評価を継続取得の32社を最優秀事業者として表彰。受賞者の代表として、最優秀表彰のエスエイロジテムの斎藤彰悟代表取締役に対し、松永部長が小池百合子都知事名の認定書を授与した。各受賞事業者には都知事名の認定書が贈られたほか、5年連続評価取得を示すロゴマークの使用が認められる。

第13次労災防止計画案

厚労省

厚生労働省の労働政策審議会は2月19日、第13次労働災害防止計画(案)について、加藤勝信大臣に対し「妥当」と答申した。厚労省は同答申を踏まえて、第13次労働災害防止計画を策定し推進する。13次計画の対象期間は平成30年度から5年間。計画目標(全体)は34年までに、29年比で死亡災害を15%以上、死傷災害を5%以上減少させることを目指す。

重点業種の目標として、陸上貨物運送(トラック運送)事業などにおける対策としては、労災

死亡15%・死傷5%以上の減少目標に

の約7割が荷役作業時に起きていることから、「荷役作業における安全ガイドライン」に基づき、陸上貨物運送事業労働災害防止協会と連携し、安全対策の徹底を図る。また、荷役作業に従事する労働者に対する安全衛生教育のあり方を検討する。加えて、国土交通省と連携し、荷主事業者に対し、長時間の荷待ち時間



全ト協 青年部会 29年度 全国大会

全日本トラック協会青年部会(山本明徹部会長)は2月22日、新宿区の京王プラザホテルで平成29年度全国大会を開催し、全国の青年経営者727人が参加した。

大会は「変革への挑戦」をテーマに開催。第1部の研修会では冒頭、山本部会長や須藤弘三副会長、来賓の自民党青年局の田野瀬太道団体部長などがあいさつ。この後、今年度の部会活動報告に続き、「働き方改革と生産性向上について〜長時間労働抑制に向けて」をテーマに、取り組み事例の発表やパネルディスカッションが行われた。なお、第2部では交流会が催された。

働き方改革や生産性向上をテーマに討議

削減や荷役施設・設備の改善などについて支援を要請する。交通労災対策として、運行管理者講習に際して、国交省と連携し、

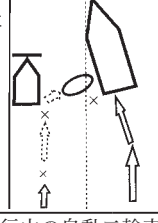
労災防止のための教育を推進。あわせて健康起因による交通労災防止の観点から、事業者による適切な健康確保対策の推進に向けた方策を検討する。

事業用貨物車 死亡事故件数

1月24件と6件増

警察庁の交通事故統計によると、1月型準中型・普通の3車種合計では12件で同4件それぞれ増加。これらの内数であるトローラは前年同月と同数の2件だった。29年の事業用貨物車による死亡事故件数は270件で、前年比12件(4・7%)増加したが、1月も前年同月を上回る状況にあるだけに、改めて事故防止の徹底が求められている。

●進路変更を行う際は、進行前後の状況への注意を怠らないこと!!

日時	2月16日(金) 17時03分頃発生(晴天)
場所	品川区内(区道)
当事者	自動二輪車(男性61歳死亡) × 自家用普通乗用車(男性60歳前半、駐車中車) × 事業用大型貨物車(男性40歳前半) 順番は過失の軽重を示すものではありません
状況	品川区八潮 
概要	区道を走行中の自動二輪車が何らかの理由で転倒滑走後、前方に駐車中の自家用普通乗用車と衝突。さらにその後、右車線から左車線へ進路変更を行っていた事業用大型貨物車と衝突したものの。

問い合わせ先：東京都トラック協会 運行管理部 ☎03-3359-3618

トラック事故速報

死亡事故

●●●『ご存知ですか?』●●●

関交協の自動車共済は

損保各社の割引率を
引き継ぎます

掛金制度改定で一段とご利用しやすくなりました。
お気軽にお問い合わせ下さい。

●他社からお切替のご用命は営業部まで

☎ 03-5337-1753
Fax 03-5337-1767



関交協

関東交通共済協同組合

☎160-0023

東京都新宿区西新宿7丁目21番20号

☎ 03-5337-1750 Fax.03-5337-1765

http://www.kankokyo.or.jp/



アクセル君

No.835

せう☆友衛



サンリオ物流施設など

東京都トラック協会環境委員会(佐久間恒好委員長)は3月6日、東ト総合会館で平成29年度第5回委員会を開催し、「未来型グリーン・エコプロジェクト(GEP)」展開をはじめとした、30年度環境対策事業計画案などを審議・承認した。

同日はまず、今年度のGEP活動状況をはじめ、環境対策事業の進捗状況などについて報告。GEPの参加事業者(3月5日時点)は648社で、参加車両は都内・

参加車両1台当たり200円を予定。東ト協は3月29日開催の理事会で、来年度事業計画・予算案各種インセンティブ措置

東ト協は全日本トラック協会と共催で2月22日、東ト総合会館で平成29年度「トラック運送事業者のための人材確保セミナー」を開催した。

冒頭、鈴木健之副会長(経営教育委員長)があいさつ。「業界では運賃・料金の適正収受や、運送

女性部 一日研修見学会
東ト協女性部(原玲子本部長)は2月21日、平成29年度「一日研修見学会」を実施し、サンリオ

の物流施設を訪れ、物流施設の概要などについて説明を受けた。その後、コンピュータシス

22日 トラック運送事業者のための人材確保セミナー▽適正化指導委

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

27日(火) 17時 青年部研修会(東ト総合会館)▽18時55分 同交流会(同)

29日(木) 正午 正副会長会(東ト総合会館)▽13時30分 理事会(同)

東京都トラック協会環境委員会(佐久間恒好委員長)は3月6日、東ト総合会館で平成29年度第5回委員会を開催し、「未来型グリーン・エコプロジェクト(GEP)」展開をはじめとした、30年度環境対策事業計画案などを審議・承認した。

同日はまず、今年度のGEP活動状況をはじめ、環境対策事業の進捗状況などについて報告。GEPの参加事業者(3月5日時点)は648社で、参加車両は都内・

参加車両1台当たり200円を予定。東ト協は3月29日開催の理事会で、来年度事業計画・予算案各種インセンティブ措置

東ト協は全日本トラック協会と共催で2月22日、東ト総合会館で平成29年度「トラック運送事業者のための人材確保セミナー」を開催した。

冒頭、鈴木健之副会長(経営教育委員長)があいさつ。「業界では運賃・料金の適正収受や、運送

女性部 一日研修見学会
東ト協女性部(原玲子本部長)は2月21日、平成29年度「一日研修見学会」を実施し、サンリオ

の物流施設を訪れ、物流施設の概要などについて説明を受けた。その後、コンピュータシス

22日 トラック運送事業者のための人材確保セミナー▽適正化指導委

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

27日(火) 17時 青年部研修会(東ト総合会館)▽18時55分 同交流会(同)

29日(木) 正午 正副会長会(東ト総合会館)▽13時30分 理事会(同)

持続可能なGEP体制に 参加メリット高め拡大へ

来年度から一部費用負担

都外ナンバーを合わせて2万289台と、昨年12月の集計時点より33台増加している。

同委では今年度、GEPのさらなる拡大・発展を図るため、将来的にも持続可能な推進体制の構築について検討。その結果「未来型GEP」の推進体制として、これまで全額補助してきた参加費用について一部参加者負担が必要とする一方で、参加者に対するサービス向上を図る方針を確認。

一部負担案としては、参加車両1台当たり200円を予定。東ト協は3月29日開催の理事会で、来年度事業計画・予算案各種インセンティブ措置

東ト協は全日本トラック協会と共催で2月22日、東ト総合会館で平成29年度「トラック運送事業者のための人材確保セミナー」を開催した。

冒頭、鈴木健之副会長(経営教育委員長)があいさつ。「業界では運賃・料金の適正収受や、運送

女性部 一日研修見学会
東ト協女性部(原玲子本部長)は2月21日、平成29年度「一日研修見学会」を実施し、サンリオ

の物流施設を訪れ、物流施設の概要などについて説明を受けた。その後、コンピュータシス

22日 トラック運送事業者のための人材確保セミナー▽適正化指導委

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

27日(火) 17時 青年部研修会(東ト総合会館)▽18時55分 同交流会(同)

環境委員会



を審議するが、その一環として承認を受けた上で実施する。

GEP参加費は当初、補助し金を取り崩し事業費に充当してきた。しかし、来年度には同基

同日は、こうしたGEP推進活動事業をはじめ、環境対策対応推進事業や環境改善促進事業(低公害化促進事業)の名称変

東ト協は、今年第19期物流経営士課程受講生の募集に先立ち、現在開講中の第18期課程の講義(受講体験)を実施

同課程の講義内容については毎年、同課程を開講している。なお、第19期

▽労務管理/6月13日 ※なお、体験時間は講義開始から1時間

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

27日(火) 17時 青年部研修会(東ト総合会館)▽18時55分 同交流会(同)

29日(木) 正午 正副会長会(東ト総合会館)▽13時30分 理事会(同)



効果的人材募集
セミナーで学ぶ

取引の適正化に向けた取り組みを進めている。厳しい状況にあるが、人材不足をはじめ、問題の改善に取り組みでいたしたい」と述べた。

セミナーでは、コヤマ経営の小山雅敬代表取締役が講演。深刻化する運転者不足の実態を説明した上で、費用がかからないハローワークの活

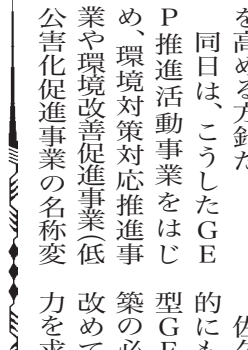
その上で、新卒者をはじめ、女性や高齢者の雇用促進を図るための求人・採用・育成方法や、

女性部 一日研修見学会
東ト協女性部(原玲子本部長)は2月21日、平成29年度「一日研修見学会」を実施し、サンリオ

の物流施設を訪れ、物流施設の概要などについて説明を受けた。その後、コンピュータシス

22日 トラック運送事業者のための人材確保セミナー▽適正化指導委

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)



効果的人材募集
セミナーで学ぶ

取引の適正化に向けた取り組みを進めている。厳しい状況にあるが、人材不足をはじめ、問題の改善に取り組みでいたしたい」と述べた。

セミナーでは、コヤマ経営の小山雅敬代表取締役が講演。深刻化する運転者不足の実態を説明した上で、費用がかからないハローワークの活

その上で、新卒者をはじめ、女性や高齢者の雇用促進を図るための求人・採用・育成方法や、

女性部 一日研修見学会
東ト協女性部(原玲子本部長)は2月21日、平成29年度「一日研修見学会」を実施し、サンリオ

の物流施設を訪れ、物流施設の概要などについて説明を受けた。その後、コンピュータシス

22日 トラック運送事業者のための人材確保セミナー▽適正化指導委

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

物流経営士課程 講義見学を募集中

東ト協では今年第19期物流経営士課程受講生の募集に先立ち、現在開講中の第18期課程の講義(受講体験)を実施

同課程の講義内容については毎年、同課程を開講している。なお、第19期

▽労務管理/6月13日 ※なお、体験時間は講義開始から1時間

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

27日(火) 17時 青年部研修会(東ト総合会館)▽18時55分 同交流会(同)

物流経営士課程 講義見学を募集中

東ト協では今年第19期物流経営士課程受講生の募集に先立ち、現在開講中の第18期課程の講義(受講体験)を実施

同課程の講義内容については毎年、同課程を開講している。なお、第19期

▽労務管理/6月13日 ※なお、体験時間は講義開始から1時間

16日 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

27日(火) 17時 青年部研修会(東ト総合会館)▽18時55分 同交流会(同)

日程ボード

【3月16〜31日】
16日(金) 13時30分 広報・情報委員会(東ト総合会館)▽15時30分 物流経営士研修会(同)

27日(火) 17時 青年部研修会(東ト総合会館)▽18時55分 同交流会(同)

新会員

◆株式会社ドリム
〃八王子市元八王子町
2の3365の6〃
042-664-6271
▽一般貨物運送(普通車
19台)

改正・改訂版

平成29年12月刊

運行管理規程

定価 216円(税込)

平成29年9月刊

保安基準ハンドブック (22版)

定価 1,620円(税込)

(株)輸送文研社 <柏林書房>

TEL.03-3861-0291代 FAX.03-3861-0295



スペインという国は不思議な国で、多くの異才・鬼才・狂才を輩出してきた。「ドン・キホーテ」のセルバンテス、シユールレアリズムのダリ、「サグラダ・ファミリア」のガウディ……。

しかし、「ベラスケスの絵画には、エル・グレコのような宗教的情熱も、ゴヤのような時代の波動と個人史をシンクロナイズさせたドラマや悲劇性も、またピカソのような破壊と再創造の爆発的なエネルギーも見いだせない。ベラスケスの絵画は、常に平明にして簡潔、平凡かつ日常的で、卑近ながら、その根底には聖俗を超えた人間の高貴な厳粛さを宿している。」(大高

ベラスケスの栄光と生涯



ディエゴ・ベラスケス『東方三博士の礼拝』1619年(同展のカタログより)

日本・スペイン外交関係樹立150周年記念「プラド美術館展」

保二郎氏
開催中の「プラド美術館展」のキヤッチフレーズは、『ベラスケス7点が一挙来日、これは事件です。』120点しか残っていない、ベラスケスの作品の4割を収蔵しているプラドにしても、国宝級の7点を貸し出すとは、確かに事件かもしれない。

ディエゴ・ベラスケスは、1599年、スペイン南部のセビリアで生まれた。6



文と写真＝
写真家・石黒健治
http://ishigurokenji.com

年間の修行の後、18歳で宗教画家となった。19歳で絵画の師、パチエーコの娘フアナと結婚。翌年、長女のフランシスカが生まれる。このとき描いた絵が『東方三博士の礼拝』である。誕生したばかりの幼な子イエスを祝福して、3人の博士が贈り物を持つてくる、お決まりの図柄。だが、幼な子は生まれたばかりのフランシスカ、抱いている聖母は妻フアナ。そして、ひざまづいて贈り物を捧げている若い男は、自分自身がモデルだという。後ろには師で岳父のパチエーコもいる。

幼な子フランシスカは聡明で可愛く、聖母役のフアナは慎ましく美しく、青年ディエゴの得意と、瑞々しい幸福感が伝わってくる。ベラスケスが、フェリペ

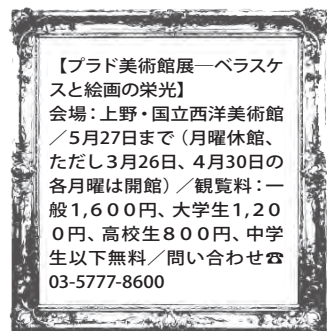
4世の王室付きの画家となるのは23歳の時である。宮廷画家といっても、当時の地位は宮廷理髪師と同格だったが、ベラスケスはフェリペ4世から特別待遇を受け、私室取次係、宮廷警吏、王室衣装係などの役職が与えられた。

1629年、ベラスケスがイタリア遊学旅行中に、王太子バルタサルが生まれた。フェリペ4世は、ベラスケスだけに肖像画を描かせようと帰国を待っていたという。今回展の目玉の大作『王太子バルタサル・カルロス騎馬像』は1635年、王太子6歳の時の作だ。

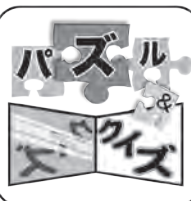
王の寵愛を受けながら、バルタサルは16歳で死ぬ。1649年、2度目のイタリア遊学は2年を超えた。王は再三帰国を促すが、ベラスケスは翌年の春まで帰ってこない。実はこのとき、イタリア女性との間に一子が生まれている。ベラスケスは50歳だった。

唯一の魅惑的な裸体画『鏡のヴィーナス』は、このときの女性がモデルで、イタリア滞在中の作ではないか、と想像されている。

このあと、ベラスケスは61歳で死を迎えるまでに、『ラス・メニーナス』など20点現存は10点を描いた。



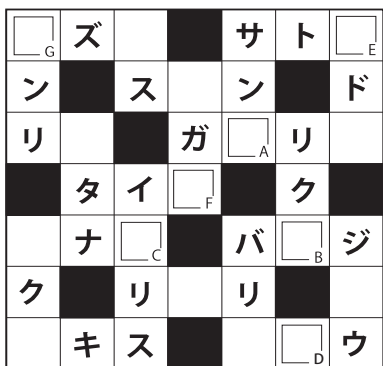
オリンパスOM-DE-M1 MarkII M.zuiko Digital 14-42mm F3.5-5.6



by 草野 公平

キー無しクロスワード

このクロスワードにはキーがありません。リストの文字をマスに入れて、意味のある言葉にしてください。文字は一度しか使えません。最後にA～Gを順に読むと答えになります。



リスト
ウ エ カ キ キ ギ シ ソ
ゾ ツ ツ ナ ヨ ワン

解答
A B C D E F G

応募方法

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。
☆インターネットでのご応募も可能です。
https://www.totokyo.or.jp/
☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の皆様へ」をクリックし、「東京都トラック時報」から「パズル&クイズ解答フォーム」へ。

●宛先
〒160-0004 新宿区四谷3-1-8
(一社)東京都トラック協会
広報部「トラック時報」係

●締め切り
3月末日(正解は4月10日号に掲載)

★2月10日号「クロスワードパズル」の正解は「ムジコムイハン」でした。

ポケット



まちかど写真家 筑峯 総太

昨年3月12日の準中型免許施行から、1年を経過しようとしている。

警察庁によると、昨年7月末現在の準中型免許取得人数は全国で2631人。東京が227人、大阪199人、埼玉196人と続く。100人を超えるのは北海道・千葉・神奈川・愛知の7都道府県にすぎない。トラック業界は即戦力につながる期待していたが、厳しい現状である。

準中型免許施行から1年



販売協会連合会(日販連)によると、平成28年の国内販売自動車台数の98・4%をAT車が占め、ここ数年、この割合が続いている。これは、もはやMT車はいらない、という意思表示なのか?

準中型免許が伸び悩む要因に、まずは若年層の認識不足が挙げられる。早い話が知らないわけだ。知っていたとしても、普通免許と比べて、講義・教習時限数が多い

ことから、授業料の高さも弊害になっているようだ。

ある県のトラック協会が県内の工業系高校の生徒を対象に、準中型免許に関する実態や意向などのアンケート調査(2198人が回答)を行ったところ、免許取得率は7%、「いざれ取りたい」が80・2%を占めている。

目的は「生活に必要」が67・8%、「就職のため」が30・2%で、「車が好き」というのは18・2%にすぎなかった。準中型免許は「知らない」が39・1%で最も多く、「よく知っている」(7・8%)と「知っている」(30・4%)を合わせても4割弱にとどまる。

トラックそのものの認識と裏返しのように、若年層はもとより、低年齢層まで下げたアプローチが必要ではないか。



最新刊の文春新書として『高齢ドライバー』が出版された。65歳

以上の高齢者がドライバーとして存在する、今日の課題に真正面から取り組んだ貴重な読み物である◆労働力不足の、最たる職種の運送業ではあるが、残念ながら、高齢者を社員に迎え入れるわけにはいかないだろう。しかし、高齢ドライバーをめぐる問題の根源を探ると、そこには、ドライバーが持つ共通的問題がある◆本書は3人の専門執筆者により、それぞれ専門分野の項目が書かれている。「社会問題としての高齢ドライバー」を所正文立正大学教授、「高齢ドライバーの認知機能」を小長谷陽子認知症介護研究・研修大府センター研究部長、「身体的問題と自動運転技術」を伊藤安海山梨大学准教授が執筆している◆昨年の運転免許返納は25万件以上(75歳以上)に上り、年々高齢者の返納率は上がっている。いざ事故となると、大変なことになるとの自覚が浸透してきたからだろう◆高齢者でないプロのドライバーとして、日常的に公道を走る以上は「油断大敵」である。久々に手堅な専門書が出た。お勧めの一書である。